

ゆい 結 ながれやま

vol.18
2020.3



男女共同参画を啓発する『結』です。
結とは・・・昔、農村の人々は手を貸しあうことを「結」と呼びました。また友達や友愛を意味する言葉でもあります。



私らしく あなたらしく



流山市の小学生と考えた防災カルタ完成!

2019年11月24日(日)10:00~11:30
流山市生涯学習センター(流山エルズ)体育館

「流山子育てプロジェクト」(青木八重子代表)による、男女共同参画の視点を持った防災カルタが完成し、カルタ大会が開催されました。読み札に市内での「小学生防災カルタコンクール」入賞5点を含む8点が採用され、絵札は市内在住のイラストレーター・三條栄子さんが描き、静岡大学教育学部・防災センターの池田恵子教授が監修しました。同プロジェクトの高野敏美(さとみ)さんと寺村瑠美(たまみ)さんに聞きました。



高野敏美さん(左)、寺村瑠美さん(右)



制作する上で工夫した点は?

「男は青系・ズボン、女は赤系・スカート」「女性が炊き出し、男性が瓦礫撤去」など役割分担意識にとらわれた絵札にならないようにしたり、おじいさんが赤ちゃんをおんぶする姿や、障害をもつ人や外国人も同じ場所にいるなど、社会の多様性に配慮しました。

カルタを作ろうと思ったきっかけは?

東日本大震災以降に防災減災の活動をする中で、忙しい子育て世代に情報が届きにくい悩みと、大人だけでなく子どもたちも、いざという時に自分の身を守るようになってほしいという願いから、カルタなら「家庭で親子が遊びながら学べる」と思いつきました。

流山子育てプロジェクトとは?

流山市主催の講座の修了生で、子育て中の母親が中心の団体です。「できる時に、できることを、できる人がやる」のスタンスで助け合い、メンバーそれぞれの経験や知識を共有し、子どもたちの成長も見守りながら活動しています。防災カルタは、大人から文字の読めない幼児まで、見ても聞いてもわかりやすく、覚えることで生きる力を養えます。



大会ではイベント用の大きいサイズを使用
◇カルタの問い合わせ:090(3577)4654(青木)

男性にとっての男女共同参画と ワーク・ライフ・バランス 育児休暇を終えて・・・

vol.16でご紹介した、市内在住 小笠原清訓さんの
育児休暇を取得後の様子をインタビューしました。

育児休暇を取得されていかがでしたか?

家族と貴重な時間を過ごせて、とても幸せでした。地域の活動に参加できたことも有意義でした。

育児休暇からの復職はスムーズでしたか? 大変なことなどありましたか?

私はリモートワークも併用していて、必要に応じて取引先や会社に行っていたので、特に抵抗はありませんでした。ただ毎日の通勤はしばらくは慣れなかったです。「あれ、つくばエクスプレスってこんなに混んでたか?」とか(笑)

男性の育児休暇取得についてどのように感じましたか?

どんどん浸透すべき概念だと思います。ただ各々の家庭の事情もありますので、強制的にはなく柔軟に選択できる世であってほしいです。男性の場合は出産前後で動きに制約はないので、とにかく引継ぎや取引先のケア等々誠意を尽くすことが重要だと思います。

パバスクール2019

20年後に笑えるための家計の見直し
夫婦で考える
子育てと老後のおカネの話



2019年11月16日(土)10:00~12:00
流山市南流山センター 参加者:27人
講師 田代修弘氏(ファイナンシャル・プロデューサー)

講師ご自身も子どもに絵本の読み聞かせをしているそうで、アイスブレイクとして『よかったね ネットくん』という絵本の読み聞かせから講座がスタートしました。

参画の視点を持って行うことで収入を増やせること、得た資金の切り崩しを先送りするため、健康に留意すること等の話がありました。自分に合った金融商品での資産運用が有効とのアドバイスもありました。

まず「子育てのおカネの話」として、教育費がいくらかかるのか、公立、私立、子どもの年齢によってどの程度違うかを資料からワークシートに転記し、電卓を使って実際に計算してみました。

参加者からは「教育費がいつ、いくらかかるのか実感できた。」「これから夫婦で資産形成について話し合い、考えていきたいと思った。」との感想がありました。

「老後のおカネの話」では、長い期間にわたって収入を得られるような生活を目指すこと、子育ても仕事も夫婦が男女共同

将来の経済について、夫婦で率直に話し合えることはとても大切。そのよいきっかけとなる講座でした。

「結ながれやま」も参加!

パートナーシップ
PARTNERSHIP
ナガレヤマ フェスタ
NAGAREYAMA FESTA2020
マイ ライフ
ここからはじまるMy Life

2020年1月26日(土)10:30~15:00
流山市生涯学習センター(流山エルズ)

男女共同参画の視点に立ったイベントやワークショップが開催され、「結ながれやま」も参加しました。編集員が「ピタゴラ男女共同参画」ワークショップを行い、「結ながれやま」のPRと「あなたも編集に参加してみませんか」とお声掛けをしました。結のワークショップには、小さいお子さん連れのファミリーを多数含む30人を超える方が来場しました。玉置編集員が制作した、テレビでおなじみのピタゴラ装置の体験展示は大好評。なかなか身近で見ることもない仕掛けに、女の子、女の子、ママ、パパも興味津々です。

はじめは恥ずかしそうにしていた子どもたちもビー玉を転がしているうちに夢中になり、「こうなっているのね」「こうするとうまくいくよ」と親子で驚きと笑顔を共有していました。中には用意してあった材料を使って、自ら作品を作ってしまう子も。ある女の子のママは、「普段は工作にあまり興味がないようだと思っていたけれど」と話すなど、お子さんの新たな一面の発見にも役立ったようです。



SDGsと 男女共同参画



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは2015年に国連で採択された2030年までの国際目標で、理念「誰一人取り残さない」が掲げられ、課題に対応した17の持続可能な開発目標が設けられています。

流山市第4次男女共同参画プランが策定されました。

「男女とも多様な生き方を尊重し、その個性と能力を十分に発揮できる流山をめざし」を基本理念に掲げ、2020年4月から5か年の計画で実施されます。これにもっとも関わるSDGsは目標5「ジェンダー平等を実現しよう」で、結の目指す方向とも同じです。SDGsは、すべての目標達成のためにそれぞれの目標のつながりを意識することが大切です。

少林寺拳法シニア流山健康クラブ に本紙の編集員(35)が潜入!

こんにちは、編集員の玉置です!最近体力の低下を痛感し始めた35歳、少林寺拳法を体験してきました。



当クラブを主催するのは少林寺拳法の名誉本部委員、石井宏明八段です。手や足を中心に身体全体を動かし、健康維持しつつ護身術としての技術も取得できるのがこのクラブ。20名近くの方が在籍しています。1回目に夜の講座、2回目に朝の講座に参加しましたが、夜は体育館でストイックに汗を流し、朝は和室で和やかに稽古する姿が印象的でした。とにかく、みんなエネルギーギッシュで笑顔で楽しそう!そこがホントに素敵なんですよね~!

そんなクラブのモットーは「元気で長生き、頭ボケずにピンピンコロリ」。自分はまだ30代ですが30年後には即、加入する予定です!(笑)



①常盤松中学校武道場(火)(木)19:00~20:30
②流山市コミュニティプラザ和室
(金)10:00~11:30
◇対象/60歳以上の男女
◇連絡先/090(2304)9271(石井)

流山で
がんばる人見つけた!

男女共同参画を自然に実践するマークさんにインタビュー

英会話教室の経営や翻訳の仕事をしなが、地域のお祭りなどにも積極的に参加しているマークさん。トレードマークの魔法使いのような長いお髭は、子どもたちからのリクエストだそうです。



鎌ヶ崎在住
マーク ジェームズ
ゼラソスキーさん
(53歳)
アメリカ合衆国
ウィスコンシン州出身

お祭りで御神輿を担ぐなど日本に慣れ親しんでいるようですね。

パートナーの香は浅草育ちで、三社祭に一緒に出たこともあるので、流山市の「赤城神輿四ツ葉会」にも参加しています。アメリカ生まれでヨーロッパにも住んだことがあります。住む土地がその時々のご郷だと思っています。

独身時代と家庭をもってからで考え方は変わりましたか。

独身時代は自分のことだけを考えるものですが、結婚したら家族を一番に思うことが大事。ただ、結婚生活も長くなるとだんだん自分のことばかりになってしまいがちです。そうならないためにも、夫婦はお互いに手伝えることが大切だと思います。まずは、家族内でも地域でも、挨拶は大切なコミュニケーションですね。

子育てはどんなふうに協力していますか。

私が日本の小学校に通っていないので、子どもの学校についてわからないこともありましたが、でも、香がその都度、説明してくれました。お互い仕事をしているため、学校の行事などは行ける方が行っています。お互いに話し合いながら家庭を築いています。

取材中、香さんが食べていたチョコの包み紙をマークさんに渡し、マークさんがゴミ箱へ。一連の流れは自然で、お二人の日常が想像できました。「近い人が捨てている」と笑うお二人ですが、何気ない動作からも男女共同参画の姿を感じました。

※「マーク英会話流山」はFacebookなどで検索できます。

編集員おすすめ図書



『ジェンダーについて
大学生が真剣に考えてみた』
あなたがあなたらしく
いられるための29問

株式会社明石書店
著：一橋大学社会学部
佐藤文香ゼミ生一同
監修：佐藤 文香

身近なところから浮かび上がってくるジェンダーの疑問をQ&A式でわかりやすく解説。ジェンダーを考え始めた大学生の視点の語り口で、回答は唯一の正解ではなく「ともに考えましょう」と呼びかけています。



『未来を変える目標』
SDGsアイデアブック

一般社団法人
Think the Earth
監修：蟹江 憲史
(慶應義塾大学大学院教授)

「ジェンダー平等を実現しよう」を含む、SDGs(持続可能な開発のための目標)とは何か、初心者にわかりやすく書かれた本です。QRコードの読み取りで最新の状況を知ることでもでき、子どもから大人まで楽しく学べます。



ニヤンと簡単に身につく!
心が休まる
『アダー心理学』

株式会社文響社
著：宿南 章
写真：たむら りえ

アダー心理学の資格をもつねこ好きの獣医が、「ねこみたい」に考えることで幸せになれるよ、と提案する本です。ねこの気分で「自己勇気づけ」、ねこの「脱力法」など、最強の自分メンテナンス術が紹介されています。

女性の生き方相談

～ひとりで悩まず

お気軽にご相談ください～

秘密厳守・相談無料

相談方法：電話相談・面談相談

相談場所：市役所市民相談室

相談時間：第1・第2・第4金曜日

10:00～16:00

(祝日・年末年始を除く)

1人1回相談(50分)※要予約

予約方法：流山市男女共同参画室に電話

または窓口でご予約ください。

予約・問い合わせ：04(7150)6091

編集後記

(写真左から)

- ・編集に携わり、かれこれ数年が経ちました。男女共同参画の視点を持つ紙面づくりをこころがけています。より多くの方に読んでほしいと思います。(三條 栄子)
- ・今年度、初めて市民編集員になり取材や編集会議を通して、男女共同参画について学び、語り合えたことが良かったです。(大久保 誕子)
- ・今回は表紙の原案と体験レポートを楽しみながら担当させていただきました。ありがとうございます。(玉置 亮達)
- ・結の編集会議でSDGsを知りました。結でSDGsをもっと身近に、男女共同参画をますます身近に感じられるように頑張りたいです。(柳橋 和郎)



男女共同参画社会をめざす情報紙 結ながれやまvol.18

企画編集：結ながれやま市民編集員

事務局：流山市総合政策部企画政策課男女共同参画室

※市民編集員を募集しています。関心のある方は事務局までご連絡ください。

〒270-0192 流山平和台1-1-1

TEL 04(7150)6064

FAX 04(7150)0111

Email: danjokyoudou@city.nagareyama.chiba.jp

記事に関するご意見、ご感想をお待ちしております。